



大阪公立大学共同出版会

ニュースレター

No.17
特集号

Osaka Municipal Universities Press (OMUP)

目次：

- ・NPO法人化後 第3回総会終わる 小股憲明 1
- ・新役員紹介 2
- ・特集記事
 - ・出版会の初心と課題 足立泰二 3
 - ・OMUP出版物の推移 4
 - ・出版業界と書店に纏わる最近の話題
金井一弘 5
- ・第16回OMUPサロン報告 6
- ・新顔紹介 6
- ・編集後記 6

NPO法人化後 第3回総会終わる

総会報告

常務理事 小股 憲明

去る6月22日午後3時から4時30分まで、大阪府立大学中もずキャンパス学術交流会館小ホールにおいて、大阪公立大学共同出版会(OMUP)の総会が開催された。総会成立の確認、議長選出(理事長三田朝義氏を選出)、議事録署名人選出の後、平成19年度事業報告・決算、平成20年度事業計画・予算、および体制強化のための新役員選出などが審議された。その審議概要は、以下の通りである。

1. 平成19年度事業報告及び決算報告についての承認

事業報告とあわせて、高辻功一監事、圓藤吟史監事による会計監査により「適法かつ適正」であると認められた「収支決算表(第2期 平成19年4月1日～平成20年3月31日)」(表1)が、満場一致で承認された。

2. 平成20年度事業計画及び予算

平成20年度予算は表1のとおり。満場一致で可決された。

3. 新役員の選出

かねてより竹安数博理事から提案があり(ニュースレター第16号掲載の竹安数博「OMUPの今後の発展に向けて」参照)、常務理事会で検討されてきた当出版会の体制強化を実現するため、理事、常務理事を増員するとともに、監事の交代を行うことと

表1 H19年度決算書およびH20年度予算書(単位 円)

| | H19 決算額 | H20 予算額 |
|----------|------------|------------|
| 事業収入 | | |
| 書籍売上 | 1,448,840 | 1,800,000 |
| 出版収入 | 4,126,750 | 4,000,000 |
| 助成金収入 | 8,575,980 | 9,000,000 |
| 入会金収入 | 70,000 | 50,000 |
| 出資金返金 | △ 100,000 | |
| その他の収入 | | |
| 受取利息 | 9,450 | 9,000 |
| 雑収入 | 6,313 | 1 |
| 当期収入合計 | 14,137,333 | 14,859,001 |
| 売上原価 | | |
| 製作費 | 10,660,274 | 9,100,000 |
| 運送・発送費 | 63,800 | 100,000 |
| 編集デザイン料 | 422,500 | 600,000 |
| 管理費 | | |
| 雑給 | 665,900 | 1,000,000 |
| 業務委託費 | 795,000 | 540,000 |
| 旅費交通費 | 114,020 | 150,000 |
| 通信費 | 81,449 | 100,000 |
| 会議費 | 26,948 | 30,000 |
| 著者精算 | 675,619 | 750,000 |
| 消耗品費 | 5,351 | 10,000 |
| 事務用品費 | 89,618 | 100,000 |
| 広告宣伝 | 256,000 | 500,000 |
| 支払手数料 | 10,202 | 15,000 |
| 諸会費 | 10,500 | 12,000 |
| 法人税等 | 71,889 | 71,889 |
| 当期支出合計 | 13,949,070 | 13,078,889 |
| 当期収支差額 | 188,263 | 1,780,112 |
| 前期繰越収支差額 | 3,897,729 | 4,085,992 |
| 次期繰越収支差額 | 4,085,992 | 5,866,104 |

した。そのため、現任の理事に加えて、新たに中井孝章、沼田英治、高辻功一、圓藤吟史の4理事の就任と、高辻功一、圓藤吟史監事の退任、田畑理一、植田英三郎監事の就任とが、全会一致で承認され、役員ではないが、OMUP初代理事長桑原孝雄氏を顧問に迎えることも全会一致で承認された。これにともなう、新たな体制を次の通りとすることも、全会一致で承認された。新体制の下で、OMUPの出版活動と社会貢献がいつそう加速することが期待されている。(新役員構成は別掲の通り)

4. 定款変更

理事、常務理事の増員にともなって定款変更が必要となったので、理事の定員について「8人以上12人以内」とあった定めを「8人以上」に、「理事のうち、1人を理事長、2人を常務理事とする」とあった定めを「理事のうち、1人を理事長、若干名を常務理事とする」に改正する案が、全会一致で可決された。

5. 業務契約等について

サイエンスアシストとの業務委託契約は平成19年度限りで終了することとなったので、サイエンスアシストから派遣されていた事務局員1名を直接雇用することとなった。ホームページの維持・管理については新たな委託先と契約するが、ホームページのコンテンツの更新、ニュースレターの刊行については、足立総務総括常務理事が中心となって行う体制とし、同理事は毎週2日出勤することとした。事務センターの電話秘書業務、杉本会計事務所の会計業務委託契約はともに継続する。

6. 役員報酬について

平成19年度総会において、2名の常務理事にはその業務内容や本出版会の財政事情を勘案して理事長が定める報酬を年度末に支払うことが出来るように定款を改正したが、平成19年度においては実質的には2名の常務理事とも、報酬を支払わないこととした。平成20年度からは、総務総括理事が毎週2日出勤の体制となったため、同理事に毎月定額の報酬を支払うこととし、会計総括常務理事に、年度末に理事長が適当と認める報酬を支払うこととして、その額については新年度総会に報告することとした。

以上。

新役員紹介

| | |
|-------|------------------------|
| 理 事 長 | 三田 朝義 |
| 常務理事 | 足立 泰二（総務総括） |
| | 小股 憲明（会計総括） |
| | 中井 孝章（大阪市立大学文系企画・編集担当） |
| | 平澤 栄次（大阪市立大学理系企画・編集担当） |
| | 竹安 数博（大阪府立大学文系企画・編集担当） |
| | 内藤 裕義（大阪府立大学理系企画・編集担当） |
| 理 事 | 湯浅 勲 |
| | 石井 実 |
| | 八木 孝司 |
| | 北村 肇 |
| | 高辻 功一 |
| | 圓藤 吟史 |
| | 沼田 英治 |
| 監 事 | 田畑 理一 |
| | 植田英三郎 |
| 事 務 局 | 児玉 倫子 |
| 編 集 長 | 金井 一弘 |

新刊書の紹介



OMUPブックレット No. 15
「堺・南大阪地域学」シリーズ9
大阪湾の自然と再生
上甫木昭春編著
関西地域の中心に位置する大阪湾の現状と変化を環境科学で検証する大阪湾学の礎となる書。



OMUPブックレット No. 16
「共生ケア」シリーズ1
街づくりと多世代交流
中井孝章編著 川口良仁、小伊藤亜希子著
幼老統合ケアという形態の多世代交流によるまちづくりの必要性和将来性を検証。新シリーズ第1巻目。



OMUPブックレット No. 18
「堺・南大阪地域学」シリーズ11
南大阪の伝統食
小林宏至編著
農業生産地域としての南大阪の歴史的背景と伝統食を解説。「伝統食」の継承の重要性を探り「地産地消」の新たな発展を目指す。



OMUPブックレット No. 19
近代ドイツの自然科学にみられる知的風土
—植物遺伝育種学者の足跡を辿りつづ—
足立泰二著
遺伝学を勃興させ、その後の育種学に重要な貢献をなしたドイツ生物学者たちを育んだ「知的風土」を検証する。

特集記事

出版会の初心と課題

常務理事 足立 泰二

大阪南部にキャンパスをもつ大阪府立3大学4ユニット（大阪女子大学、大阪府立大学、大阪府立看護大学および同医療技術短期大学部）と大和川右岸に位置する大阪市立大学所属の教職員に呼びかけ、メンバー102名からなる任意団体として大阪公立大学共同出版会を発足したのが2001年2月。今年は発足以来8年目、NPO（特定非営利活動）法人になって、3年目を迎えた。その間、決して順調ばかりだったとは言えないが、ここで今一度初心に戻り、更なる展開に向けて成長したいものである。

発会準備期間を入れても10年に満たないが、学術の中核であるべき大学にその情報発信媒体である出版局あるいは出版部がないことを憂いていた者の一人として、大学のお抱え出版会だったり、地域貢献だけの大学でもなく、規模の違いや、歴史的、理念上の差異は持ちながらも、互いに切磋琢磨しつつ、多様性のある学術的創造と情報発信を願って今日に至っているのである。

当初、アンケート調査に基づいて発起人会を組織し、次のような点が確認された。

1. 自然、人文、社会科学の別なく、すぐれた学術成果を刊行すること。（学術書の刊行）
2. 教育・研究に利する方法の探索。（教科書、副読本および電子媒体の制作）
3. 大学のエクステンション機能としての大学人の社会への対応。（啓蒙書、教養書などの刊行）
4. 出版にあたっては、著者自らが出版資金調達に努力すること。（会員の出版助成金申請、外部資金確保に協力をする）
5. 出版会は組織として、大学に従属する形はとらない。学会、研究会を設立するような、いわば任意団体として可能な限り社会に開かれた事業運営をすべき。
6. 各役員は基本的には報償金を受け取らない、いわゆるボランティア活動。ただし、経理その他日常事務的業務は外部委託をする。
7. 出版に係る編集業務は外部の専門的経験者に協力を得る。幸い、発会当初、編集業務は星湖舎主、金井一弘氏がOMUP編集長として、会計業務一般はダブルワークスが絶大な協力をすることでスタートをすることになった。

それ以降の主な歩みは「OMUP出版物の推移」を参照いただくことにして、現時点での課題を列記しよう。

1. もっと、著者の掘り起こしをしよう。
8年間で40冊の発行は出版会としてはまだまだ幼子同然である。そして構成大学の現教授陣の執筆が少ない。
2. 出版費用の著者負担軽減化
学術書出版の助成費申請に協力し、自費での出版を極力軽減する努力をする。著者には各種助成制度を紹介し、経費の軽減化に最大限努力する。

3. 構成大学等への出版助成制度の設定を呼びかける。
若手、特に博士取得者の処女出版を推進するため、各大学独自の受託出版を促進させる。
4. 販路拡大の努力
近年は「本の流通革命」が起きている。情報発信と情報検索はインターネットが顕著。すでにOMUPもAMAZON、紀伊国屋を通じてのネット販売がのびている。
5. 出版物の質的向上

これまでの発刊本に高い評価をいただいているものが多い。著者努力の成果ではあるが、OMUPとしても、さらに一層の努力、特に編集業務の改善を図り、著者に協力したいものである。

OMUP出版物の推移

| 年度 | 発行時期 | 題名 | 著者 |
|--------|----------|---|--|
| 平成13年度 | 2001年6月 | How to Overcome Breeding Barriers by Means of Plant Biotechnology? (略記名: OVERCOMING BREEDING BARRIERS IN TOMATO、トマトにおける育種障害の克服) | Adachi (大府大)、 Imanishi (山形大) Hoffmann (カリフォルニア大アーヴィン校) |
| 平成14年度 | 2002年3月 | ブドウを知ればワインが見える | 中川昌一 (大阪府大名誉教授) |
| | 2002年5月 | OMUPユニヴァーシリーズ1 農学生命科学へのいざない | 大阪府大院農・生命、先端研教授陣10名 |
| | 2003年2月 | 植物と微気象 - 群落大気の乱れとフラックス | 文字信貴 (大阪府大) |
| | 2003年3月 | 社会保障政策従属型ボランティア政策 | 阿部 敦 (神戸国際大学) |
| 平成15年度 | 2003年9月 | 農学から地域環境を考える | 地域環境を考える会編 (大阪府立大学) |
| | 2003年11月 | Les metamorphoses de pacte diabolique dans l'uvre de Balzac | 村田京子 (大阪女子大学) |
| | 2003年12月 | OMUPユニヴァーシリーズ2 地球学へのいざない | 大阪市大/地球学教室教授陣14名 |
| | 2004年3月 | 植物色素研究法 | 植物色素研究会編 |
| | 2004年4月 | ヨーロッパの保育と保育者養成 | パメラ・オーバーシューマ原著、泉千勢監修、OMEF翻訳 |
| 平成16年度 | 2003年12月 | 地域情報政策と公立諸大学 | 笹山忠則 (大阪府看護大) |
| | 2005年3月 | 近代日本の国民像と天皇像 | 小股憲明 (大阪府大) |
| | 2005年2月 | オンブズマン活動参加者の価値指向性 - 市民社会領域の現状と課題 - | 阿部 敦 (神戸女子大) |
| | 2005年1月 | ゲーテの秘密結社 - 啓蒙と秘教の世紀を読む - | 北原 博 (大阪市大) |
| 平成17年度 | 2005年5月 | OMUPブックレットNo.1 食文化、東と西 | 森田尚文 (大阪府大) 前田智子 (兵庫教育大) |
| | 2005年5月 | OMUPブックレットNo.2 「少子高齢社会」の描かれ方 | 阿部敦 (神戸女子大) 渡邊かおり (金沢大院後期課程) |

出版業界と書店に纏わる最近の話題

OMUP編集長（星湖舎主）金井 一弘

大阪公立大学共同出版会誕生以来、新刊本の編集業務に携わせていただいておりますが、出版をとりまく最近の話題を紹介してみます。いずれも明るい話題ではないのですが、出版をとりまく現状をご認識いただき、我々の出版活動の参考になればと考えます。

1. 書店万引きの実態調査とICタグの未来

本にICタグ（電波によって情報を記録させる小さなチップ）を装着しようという取り組みが6年ほど前より活発化され、ようやく実験段階に入ってきたようです。この取り組みの目的は、1冊1冊の本の流れを明確に把握し、客注への適切な対応にあります。本の実、最大の目的は万引き防止にあります。

本の万引きと言えば、ひと昔前までは、「本を読みたいため」「本屋への嫌がらせ」などでありましたが、今日では「換金目的」が一番の理由になっています。すなわち、ブックオフのような新古書店にて現金と引き替えることを目的に、万引きをするのです。

2. 出版業界と書店の現状

- ・2007年度年間の販売総額は2兆856億円、2001年比-2397億円（-10%）
- ・全国書店数は、2007年17098店。2001年比-3841店（-22%）
- ・万引きの被害実態、年間被害額192億7千万円！ 1日5279万円が万引きされている！
- ・書店のみが被害者。ICタグの登場により万一、書店のレジを通った記録がない本が新古書店に持ち込まれた場合、換金できないという規則を業界で構築します。そのICタグを装着するのは出版社の役割。作業に伴う費用は出版社が負担することで、ようやく出版社も書店の万引き防止への役割を担います。

3. ICタグの未来

今や、消費者中心の時代にあつて、本の流通の形態は過去の遺物。注文してから本が書店に届くまでに10日から2週間、いや1ヶ月掛かることすらあります。かつ、それが何日の何時に入荷されるのか書店員はまともに答えることができません。情報化された今日、注文した品が今どこを歩んでいるのか、消費者に即答できる体制づくりが急がれます。本の流通革命の救世主となるのが、ICタグ。早く1枚5円のタグが開発されるのを心待ちにしたいと思います。

※データは報告会当日に使われたJPO日本出版インフラセンターの資料であり、同資料は同組織のホームページで閲覧でき、引用して利用することが可能です。また、詳しい報告内容は10月1日発行『星と泉』新創刊特大号（星湖舎刊）をご覧ください。

| | | | |
|--------|-----------|---|-----------------------------------|
| 平成17年度 | 2005年8月 | OMUPブックレットNo.3 食育が子供を救う | 中井孝章 (大阪市大) |
| | 2006年1月 | OMUPブックレットNo.4 「新しい公共」がもたらす“官益”市民社会 | 阿部 敦 (神戸女子大) |
| | 2006年3月 | OMUPブックレットNo.5 子どもを育む住まい方 | 小伊藤亜希子(大阪市大) 中井孝章(大阪市大) |
| 平成18年度 | 2006年4月 | クロモソーム 構造と機能 | サムナー著・福井希一監訳(大阪大学) |
| | 2006年8月 | OMUPブックレットNo.6 堺学から堺・南大阪地域学へ | 乾善彦(大阪府大) |
| | 2006年8月 | OMUPブックレットNo.7 南大阪地域 大学コンソーシアムの挑戦 | 小股憲明 (大阪府大) |
| | 2006年8月 | OMUPブックレットNo.8 大阪の精神医療 | 黒田研二 (大阪府大) |
| | (2007年4月) | OMUPブックレットNo.9 関西国際空港が拓く南大阪の可能性 | 山中浩之編著 (羽衣国際大) |
| | 2006年11月 | マーゴット セラピー ウジを使った創傷治療 | 沼田英治(大阪市大) 三井秀也(岡山大学) |
| | 2006年11月 | OMUPブックレットNo.10 満月が大きく見える | 平澤栄次 (大阪市大) |
| | 2007年1月 | 市民社会を取り巻く公的政策 | 阿部 敦 (神戸女子大) |
| | 2007年3月 | TIME SERIES ANALYSIS AND ITS APPLICATIONS | 竹安数博(大阪府大)・樋口友紀(大阪府大院博士後期課程) |
| 平成19年度 | 2007年4月 | OCAMI Studies Vo. 1. Knot theoriesfor Scientific Objects | 河内明夫 (大阪市大) |
| | 2007年4月 | 小麦特性の解明 | 森田尚文(大阪府大)・前田智子(兵庫教育大) |
| | 2007年5月 | OMUPブックレットNo.11 中国話者のための日本語教育研究入門 | 張 麟声 (大阪府大) |
| | 2007年7月 | かつて私は軍国少女であった | 渡辺孝子(著) 渡辺幸博編(関西大名誉教授) |
| | 2007年7月 | OMUPブックレットNo.12 関西国際空港が切り開く南大阪の可能性 | 山田浩之編著 (羽衣国際大) |
| | 2007年3月 | TIME SERIES ANALYSIS AND ITS APPLICATIONS II | 竹安数博(大阪府大)・石井康夫・樋口友紀(大阪府大院博士後期課程) |
| | 2007年11月 | OMUPブックレットNo. 13 南大阪の万葉学 | 村田右富実 (大阪府大) |
| | 2008年3月 | 経済学・経営学・法学へのいざない | 大阪府立大経済学部 |
| | 2008年3月 | OCAMI Studies Vo. 2. Complex Analysisi and its applications | 今吉洋一 (大阪市大) |
| 平成20年度 | 2008年4月 | OMUPブックレットNo. 15 大阪湾の自然と再生 | 上甬木昭春 編著 (大阪府大) |
| | 2008年4月 | OMUPブックレットNo. 16 街づくりと多世代交流 | 中井孝章 編著 (大阪市大) |
| | 2008年7月 | 北九州市の地域福祉政策 | 阿部 敦 (神戸女子大) |
| | 2008年8月 | OMUPブックレットNo. 18 南大阪の伝統食 | 小林宏至 編著 (大阪府大名誉教授) |
| | 2008年8月 | みんなのくらしと放射線 | 「みんなのくらしと放射線」知識普及実行委員会編 |
| | 2008年8月 | 孤独な中国の小皇帝 再考 —都市家族の育児環境と社会化— | 鄭 楊(中国・ハルビン師範大) |
| | 2008年9月 | 社会人大学院へのススメ | 商都なんばから翔く編 |
| | 2008年10月 | OMUPブックレットNo. 19 近代ドイツの自然科学に見られる知的風土 | 足立泰二 (大阪府大名誉教授) |

あなたが著者に、 大学人出版活動のすすめ

- あの文豪、ゲーテも処女出版は自費だった時代は違うけど、生むことの困難は同じ
- 学術著書の評価上昇中
数ページで2,3年の寿命の原著論文より高評価
- 学生が本を読むようになるコツ
先生の著書は学生の誇り、廉価なら買って読みます
- 教科書、推薦図書売れます
若い人たちは望んでいます、先生の感性を
- 読まない、買わない、著さない
ハウツーものは本とは言えぬ
- やはり復活、文字文化
今若年層に復活の兆し、読書
- OMUPがお手伝い

さあ、まずはご相談をOMUPに！

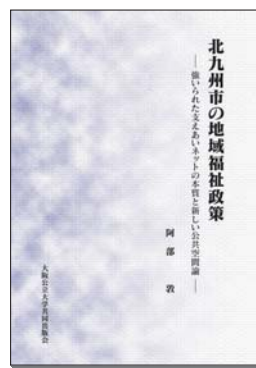
新刊書の紹介



孤独な中国の小皇帝 再考
—都市家族の育児環境と社会化—
鄭 楊
A5判、208ページ 2,625円(2,500円+税)
現代中国の都市部における「一人っ子政策」の生育環境を明らかにし、中国の一人っ子がいわゆる「小皇帝」であるか否かを質す。

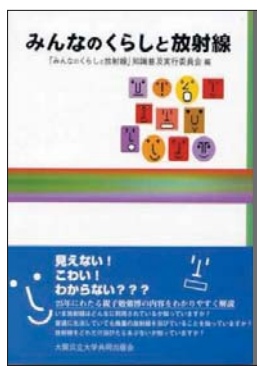


OMUPユニヴァシ리즈 3
経済学・経営学・法学へのいざない
大阪府立大学経済学部編
A5判、255ページ 1,680円(1,600円+税)
大阪府立大学経済学部は、一つの学部で、経済、経営、法律の知識を同時かつ集中的に学ぶことのできるユニークな学部である。それぞれの教員が専門分野の面白さや大切さを分かりやすく解説。



北九州市の地域福祉政策
—強いられた支えあいネットの本質と新しい公共空間論—
阿部 敦
A5判、240ページ 1,890円(1,800円+税)
餓死・孤独死を出すほど劣悪な保護行政が批判される地区で、なぜ活発な地域福祉活動が行政主導で展開されるのか。この矛盾の分析・検証を試みる。

新刊書の紹介



みんなのくらしと放射線
「みんなのくらしと放射線」知識普及実行委員会 編
A5判、202ページ 1,575円(1,500円+税)
私たちがくらしの中にかかわる放射線について、基本的な事から工業・農業・医療への利用をわかりやすく解説。この本を読めば、身のまわりの放射線に対する漠然とした不安が安全へと変わります。



社会人大学院へのススメ
商都なんばから翔会 編著
B6判、234ページ 1,575円(1,500円+税)
大阪府立大学大学院なんばサテライト教室の四世代(三十、四十、五十、六十)の修了生たちの体験記。社会人大学院の魅力が満載。

第16回OMUPサロン報告

第16回OMUPサロンは、去る6月22日第3回総会の閉会后、懇親パーティに先立って、府立大学学術交流会館小ホールで開催した。話題提供は、OMUPブックレットNo.13『南大阪の万葉学』（2007年11月刊）の著者、村田右富実先生（大阪府立大学人間社会学部准教授）と『かつて私は軍国少女であった 渡辺孝子遺稿集』（2007年6月刊）の編者、渡辺幸博先生（元関大教授）のお二人によるものだった。

まず、村田先生は数々の歌が詠まれている南大阪の地名とかつての地勢的な状況を検証しながら、歴史的、文化的背景についても興味深く解説いただいた。先生の名講義に引き込まれ、詠まれた当時の状況を彷彿とさせるもので、参加者一同、深い感銘を受けた。次なる新刊書待望の声、しきりであった。

次いで、いまは亡き孝子夫人（元四条畷短大ドイツ語教授）の遺稿集を纏められた夫君、渡辺幸博先生は出版の経緯に触れたあと、むしろ今後のOMUPの出版図書販路拡大についてのセッションをいただいた。先生の率直な指摘は、今後のOMUPにとって、その一つひとつが貴重な提言だった。

なお、このサロンは、OMUP会員である著者の新刊出版をお喜びすることと、OMUP事業活動の一環として会員以外の皆様にもお加わりいただき、情報発信の促進に寄与しようとする企てである。ご意見等はOMUP事務局までご連絡いただきたくお願い申し上げます。次回17回は今年末を計画している。

なお、サロンご出席者にはこれまでのOMUP出版本の各著者のご厚意により、格安のお値段で販売している。

新顔紹介

脇村 清也（わきむら せいや）

大阪市立大学生協同組合 専務理事（代表理事）

趣味：写真・料理・旅行・温泉

抱負：大学の中に存在する大学生協書籍部として、出版と販売（供給）の双方をつなぐ役割を發揮できればと思います。生協店舗の機能を活用して出版情報提供をすすめていきたいと考えています。



大阪公立大学共同出版会事務局より

大阪公立大学共同出版会は、大阪市立大学、大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学および大阪府立看護大学医療技術短期大学部における教職員と、本出版会の趣旨に賛同する者の自主的な参加を得て、研究・教育成果の発表を助成し、また民間出版社において採算上刊行を引き受けられないような優良学術図書の刊行頒布の事業を行い、学術の振興および文化の発展に寄与することを目的とし、

- (1) 会員の教科書および学術研究報告の刊行頒布
- (2) 会員の学術図書の刊行頒布
- (3) 会員のデータベース、ソフト等電子出版物の刊行頒布
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な事業

などをおこなっているNPO法人です。参加を希望される方は下記事務局へお問い合わせください。

599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学中もずキャンパス内

NPO法人大阪公立大学共同出版会(OMUP)事務局

電話：072-251-6533 ファクシミリ：072-254-9539

e-mail：omup@hs.osakafu-u.ac.jp

URL：http://www.omup.jp/

入会金：一口 一万円（終身会費）

振込先：三菱東京UFJ銀行 中もず支店

普通 3976510

編集後記

諸般の事情はあったにしても、総会報告が遅れたことを深くお詫びいたします。役員顔ぶれも新たに今年度の出版活動が順調であることをお知らせします。

今回のニュースレターはOMUP会員だけでなく、大阪市立大学と大阪府立大学の教職員に知って戴く目的で特集を組みましたのも、発行遅れの原因でもあります。OMUPへの提言、改善策の提案はいつでもお受けしています。

幸いにも、これまでに刊行された先生方からは積極的激励が多く寄せられています。まずは10年を目標に積極的取り組みをしていますので、更なるご支援をご期待しております。

次回からリレーで理事の紹介とOMUPへの思いを語って戴こうと思っています。お楽しみに。

(T. A.)